

令和7年度コミュニティ・スクール推進研修（高・特）②実施報告

実施日：令和7（2025）年9月11日

コミュニティ・スクール推進研修（高等学校・特別支援学校）第2回を開催し、22名の方に御参加いただきました。

○ 講話・事例研究「学校運営協議会運営の実例①～高等学校の事例から考える運営のポイント～」

文部科学省CSマイスター（岡山県青少年教育センター閑谷学校 所長） 香山 真一 氏

文部科学省CSマイスター香山真一氏による講話・事例研究を実施しました。研修は3部構成で行われ、第1部では参加者による自己紹介の後、各所属先のコミュニティ・スクールの現状や課題についてグループ活動を通じて共有しました。

第2部では、学校評議員制度と学校運営協議会制度の違い、学校運営協議会との連携・協働体制、地域学校協働活動との一体的推進、導入のロードマップ、そしてコミュニティ・スクールの必要性について解説がありました。また、岡山県立和気閑谷高等学校の事例を中心に、コミュニティ・スクールの有効な活用方法が示されました。学校運営協議会委員とそのネットワークとして継続的に関わるプロボノメンター、そしてそれらを組織化・支援するコーディネーターとの対話を重ねながら進めていくことの重要性についても強調され、協働体制の構築に向けた視点が共有されました。

第3部では、研修内容を踏まえた振り返りと今後の展望についてグループ活動を通じて意見交換を行い、ワールドカフェ形式で様々な方と意見交換することで、自校での実践に向けた課題と可能性を再確認するとともに、今後のコミュニティ・スクールの有効的な活用に向けて学び合う様子が見られました。



★ 受講者の声 ★

- ・具体的な取組について伺うことができ、大変勉強になりました。コミュニティ・スクールに消極的な教職員もいるため、今回の研修で学んだ利点を伝え、意識改革につなげたいと思います。
- ・総合的な探究の時間において、『自己の在り方や生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく』ためには、教職員以外の魅力的な大人との出会い（ロールモデル）が重要であることを学びました。
- ・生徒にとって、人生のロールモデルに出会える機会が生まれることを知り、コミュニティ・スクールの実施は生徒にとっても価値があると感じました。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp